

# 白川勝利で 四国から野党連合政権の扉を開こう



8月25日、高知の全県地方議員交流会。苦難軽減、党勢拡大などで奮闘する発言が次々。白川さんは国政候補の決意に至った原点を語りあいさつ。「この人を国会へ、この人とともにたたかう」と心が一つに。



白川よう子



29日、高知県日本共産党後援会総会であいさつ。



27日、松山市で女性のつどい。小崎愛子・杉村千栄両市議と街頭宣伝。宇和島市、業者後援会のつどい。コロナ危機をどう乗り越えるのか？資本主義とは？などの質問に答え、次の総選挙を勝ち抜く決意を語りました。



30日、民青香川県委員会主催「個人の尊厳とジェンダー平等」学習会で講師。

28日、八幡浜市で遠藤綾市議と西予市で和氣数男市議と、宇和島市で坂尾眞市議とつどいで訴え。一人が入党を決意しました。



24日は香川県教育委員会の工代祐司教育長に「今こそ少人数学級の実現を」と要望し、懇談しました。教育長からは「次の教育基本計画の策定にあわせ、現在の少人数指導体制からさらに発展させるよう検討していく」との答え。コロナ禍の対応としても重要です。次の日高知に戻り、全県地方議員交流会でご挨拶。地方議員も務めてきた自分の思いを生い立ちも含め素直にお話ししました。翌日からは松山市での集いや街頭宣伝。宇和島市、八幡浜市、西予市など南予での集いなど、猛暑を吹っ飛ばす勢いで四国中を駆け回りました。

よう子記

安倍首相が辞意表明、解散総選挙について色々な憶測も流れています。国政はコロナ対応など、一刻の空白も許されません。速やかに臨時国会を開き、新首相のもとで国政の基本問題で十分な審議を強く求めます。22日、高知県の中村駅を目指して出発したはずが、連日の猛暑のせいか電車を乗り間違え、気がつけば瀬戸大橋の上。児島から引き返し、少し遅れて四万十市でのつどいにかかけつけました。皆さん待っていてくれました。

\*\*\*\*\*